

古より秋保の人々の生活とともにあり、ずっとその営みを見守ってきた大東岳。春の雪形は驚と蛇。地元では、お山にこれが見えると田植えの時期が到来したことのしるしと云われる。夏は太古から変わらぬ深い緑の林に包まれ、短い秋の鮮やかな紅葉色を過ぎると、再び雪をまとって神々しく輝く。

若林区六郷や七郷、名取市の閑上や仙台空港、遠くは亙理の荒浜などの沿岸部から西方の山々を望むと、遙か彼方に一目でそれと分かる台形状の堂々とした山容を成す大東岳。

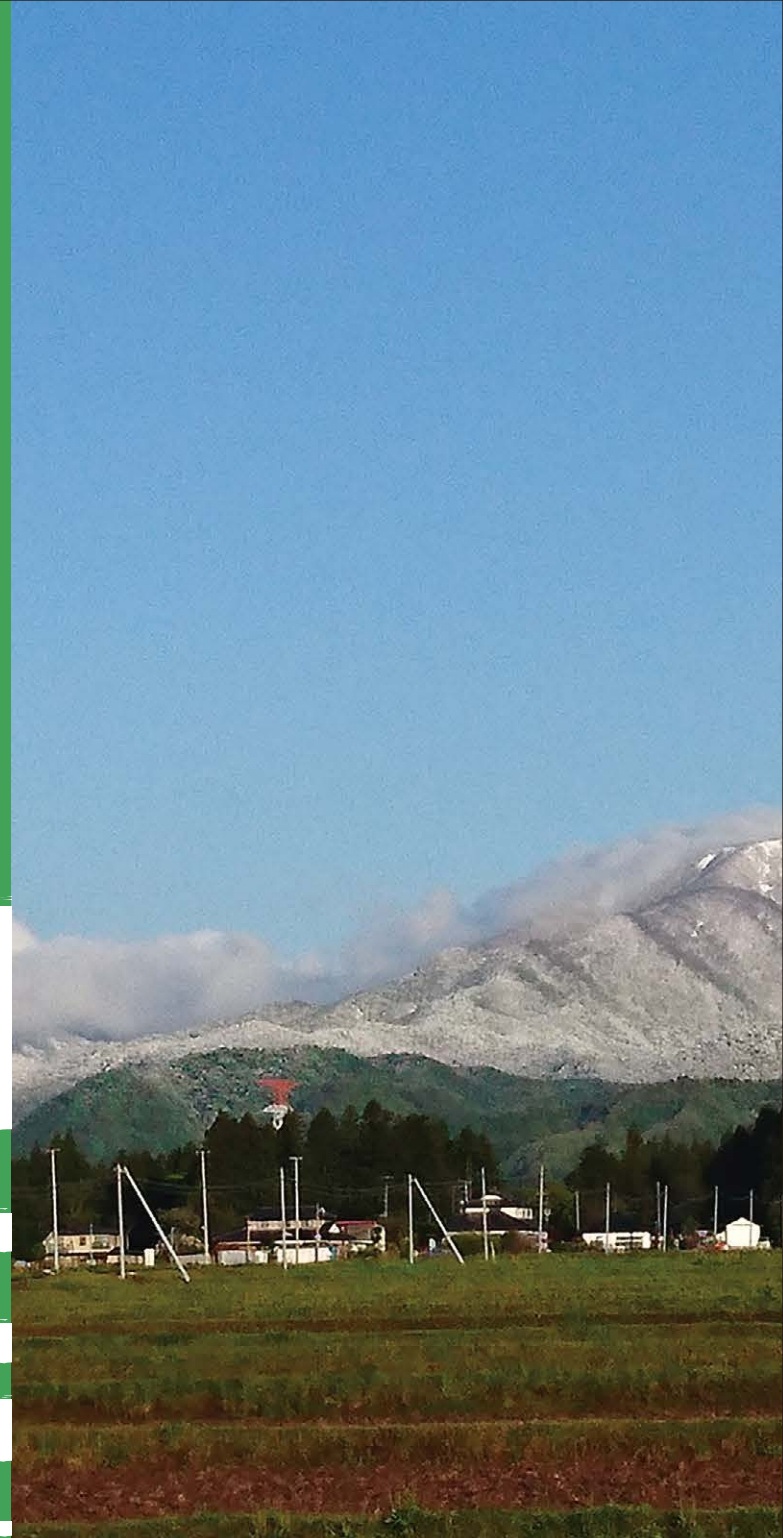
秋保地区内3小学校の校歌では「大東岳おおあずましせんじゃく四千尺」と唄い秋保の主峰を称える。

地元では「あずま山」とも呼び、その由来は古代東北を北上する東街道沿いの目印となる山々に関連付けて名付けられたという説もあるが、慈覚大師円仁が開いた山寺立石寺の方から見て、東方にあることに由来するという説もあり、これも定かではない。

秋保の里を四季折々の姿で見守り、人々の心の深いところで支えている誇り高い名山である。

# 秋保 いってみっぺ

## 秋保郷の最高峰 大東岳さ登る



### いってみっぺ 秋保

#### 秋保郷の最高峰 大東岳さ登る

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市  
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)  
秋保市民センター (022-399-2316)

二口山塊最高峰の懐は深く、緑の樹林帯を黙々と進む頂上への道のりは存外に長く険しく決して初心者向けの山ではないことをやがて知ることになるだろう最大のご褒美は、山頂付近からの絶景のパノラマださあ一歩登山道に踏み出してみようか



南面白山から見た晩秋の大東岳

三方倉山から見た新緑の大東岳

掲載されている情報は、令和6年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保  
二口街道ツアー 62

No.46

# 大東岳さ登る



山頂から西方を望む。村山盆地の彼方に、晴ればば月山・鳥海山・朝日連峰が一望できる。

山頂付近から東方を望む。仙台平野の彼方に太平洋を望むことができる。晴天時の絶景は格別！

15 大東社祠と傍らに咲くシラネアオイ

14 九合目

16 二口山塊見晴らし



18 ここまで来ると足もガクガク？ ガクリ沢

17 大行沢コースの難所 弥吉ころばし



19 樋の沢避難小屋  
休憩や避難等のポイントとして重宝。どなたでも利用できるが、ごみの持ち帰りは必須！



9 五合目 尾根上がり



8 五合目手前のオオヒバを望む



10 六合目



7 四合目 炭窯跡



6 三合目



5 二合目 六本サワグルミ



4 石苔に乗る根っこカメレオン



3 一合目付近の巨大な落ち石



20 滑床沢

自然のウォータースライダー、一枚岩の沢で滑らないよう慎重横断。



天国の滑、大行沢

大行沢は、平らな岩盤の上の流水が延々と続く美しい沢として全国の沢登り愛好者から人気が高い。



22 裏磐司展望台

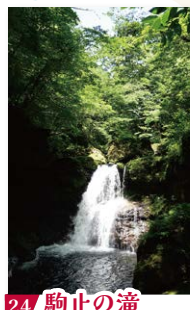
裏磐司展望台、大行沢沿いにそそり立つ岩壁群が四季折々に壮大な峡谷の景観を醸し出す。



23 雨滝



樋の沢避難小屋と駒止の滝間は、峡谷沿いの崖を進む登山道、気を抜くことなく歩こう。



24 駒止の滝



1 登山道出入口



2 山の神碑

登山口は石碑群と杉が目印、山旅の安全を祈りスタート、杉木立を歩く。



杉木立を登りはじめる

## 各ポイントの間の歩行時間の目安

※歩行時間の合計は7.5時間ですが、個人差があり、あくまで参考です。※休憩時間を考慮して、早朝に出発するなど無理のない登山計画を立てましょう。※登山靴・地図・雨具・ヘッドライトなど全員の装備に心がけ安全な登山を楽しみましょう。※登山届は必ず出しましょう！

- 1 登山道出入口 20分
- 一合目(落ち石) 15分
- 二合目(六本サワグルミ) 20分
- 立石沢広場 10分
- 6 三合目 20分
- 7 四合目(炭窯跡) 20分
- 9 五合目(尾根上がり) 15分
- 10 六合目 10分
- 標高点 15分
- 七合目(こぶし平) 15分
- 東清水分岐 5分
- 12 八合目(沼の平) 15分
- 13 鼻こすり 10分
- 14 九合目 20分
- 山頂(大東権現) 15分
- 16 二口山塊見晴らし 5分
- 17 弥吉ころばし 50分
- 18 ガクリ沢 30分
- 樋の沢出合 15分
- 北石橋分岐 15分
- おどげ坂 15分
- 20 滑床沢 10分
- けやき沢 10分
- 21 京沢梯子滝 5分
- 22 裏磐司展望台 15分
- 23 雨滝 15分
- 白滝分岐 15分
- 24 駒止の滝 25分
- 1 登山道出入口